

海外事業概要調査報告書

・ 会員会社による海外事業の展開状況	3
・ 海外生産事業の概要	
1. 調査方法	5
2. 回答企業の内訳	5
3. 売上高の状況	5
4. 収益の状況	10
5. 雇用の状況	15
6. 現地調達率	17

2003 年 11 月
(社)日本自動車部品工業会

平成15年度海外事業概要調査の結果について

当工業会では毎年会員企業の海外事業についてその概要調査を実施している。本年度の調査結果を別紙のとおりまとめたが、その注目点を整理すると次のとおりである。

1. 中国を中心にグローバル化は更に進展、海外生産拠点数は1200ヶ所を突破

海外生産会社の合計数は1237社で1200拠点を突破した。今年度調査での純増社数は55社であるが、会員企業から新たに報告された生産拠点は109社であり、引き続いて部品メーカーのグローバル展開が進んでいることを示している。中でも中国では151社から182社へ急増し、国別ではタイを抜いて米国に次いで第2位に躍進した。中国での自動車市場の急成長とそれに対応した日本の自動車メーカーによる中国事業の拡大、ならびにコストダウンのための中国への生産移管を背景に、部品メーカーの中国事業展開は当面はハイペースで増加するものと思われる。

その他の国では、日系自動車メーカーの生産が増加している米国やタイ、及びEUの拡大を背景としたチェコなど中・東欧での増加が注目される。

2. 前年度と比較し、米国事業は好調、欧州とアジアは横ばい

主要地域別に売上高の増減、単年度収支、累積損益、配当企業の割合を前年比で見ると以下のとおりである。

	売上高前年度 比増減	単年度黒字企 業比率	累積黒字企業 比率	配当実施企業 比率
全体	+15.4%	2.3%	+2.9%	0.5%
北米	+18.6%	+9.6%	+10.4%	+2.2%
欧州	+11.1%	+1.5%	1.2%	6.1%
アジア	+12.6%	10.3%	+0.7%	+0.9%
内アセアン	+9.5%	9.2%	+6.8%	+6.2%
内中国	+3.9%	15.5%	9.3%	7.0%

(はマイナス)

北米は全ての数値が好転している。これは北米での日系自動車メーカーを中心とした好調な業績に支えられたものと考えられる。

欧州は前年比ほぼ横ばいであるが、引き続いて北米、アジア事業にくらべ業績は見劣りしており、厳しい状況が続いている。

アジアでは当期利益黒字会社の割合の減少が見られるが、総じて業績は横ばいといえる。当期利益黒字会社の割合の減少は、主にアセアン及び中国で見られる。中国は新設会社の増加が影響しているものと思われる。なお、アジア事業は累積黒字会社や配当実施会社の割合では引き続き欧米より優位にある。

3. アジア事業の対日輸出が増加

アジア事業での売上高輸出金額の割合（加重平均）は昨年より 1.3%の微増であったが、そのうち日本向けは 5.0%増加した。しかし、アセアンと中国事業では日本向けの輸出が大幅に増加している。特に中国では売上高の半分弱が日本向けであった。

自動車メーカーからのコストダウン要求に対応するため、これらの諸国への生産移管や生産補完関係の構築が進んでいることを示している。

アジア事業の輸出比率（売上金額での加重平均％）

	アジア全体		うちアセアン		うち中国	
	2001年	2002年	2001年	2002年	2001年	2002年
輸出比率	36.6	37.9	39.3	44.0	59.9	56.1
うち日本向け	12.7	17.7	11.9	16.2	25.8	45.9

以上

・ 会員会社による海外事業の展開状況

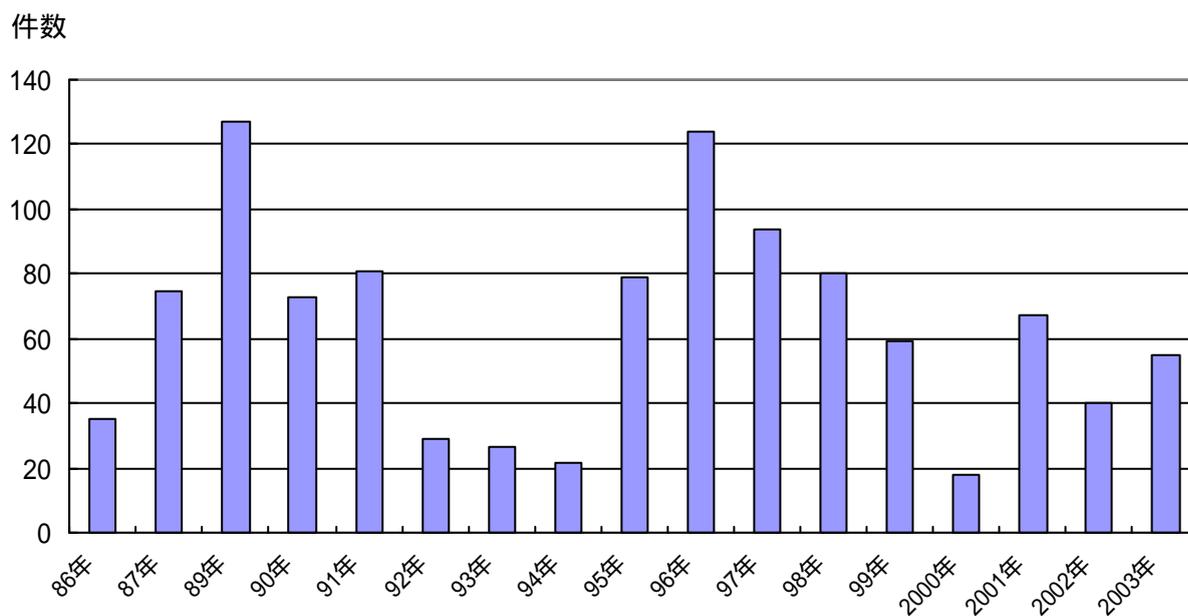
事業別による海外事業の件数について、前回調査との比較をすると次の通りである。

	前 回	今 回	増 加 数	前 回 比 率
生産事業	1,182	1,237	55	104.7%
販売事業	229	243	14	106.1%
技術供与	592	559	-33	94.4%
その他(注)	109	115	6	105.5%
合 計	2,112	2,154	42	102.0%

(注) その他とは、「現地統括管理会社」、「研究開発会社」等

生産事業は昨年に比べ55件増加し合計1,237件であった。昨年に比べ、増加率は上昇している。

海外生産拠点数の増加推移

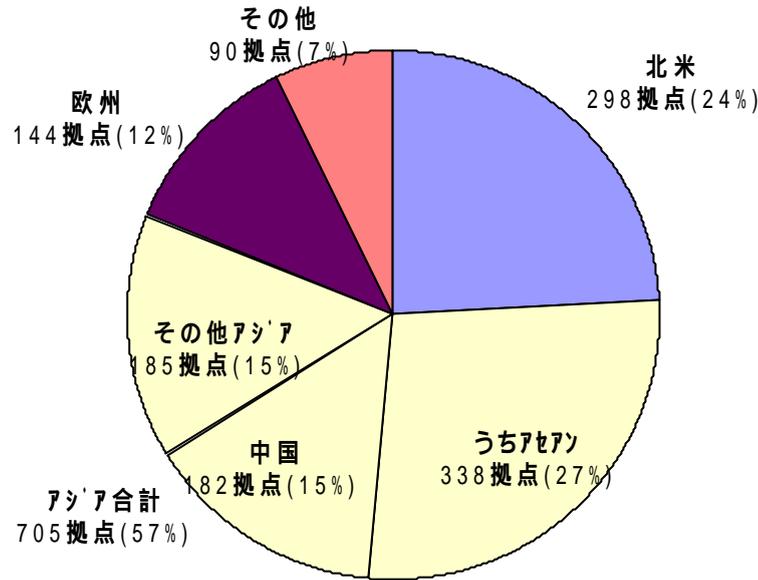


(注) 年は、調査実施年を示す。

今回調査での生産拠点(現地企業)の地域別分布は次の通りである。昨年と比べ、傾向に大きな違いはなく、中国が全体の15%を占めるなど引き続きアジア地域での割合が60%近くになっている。

なお、この報告書で使用される地域区分のうち、北米は米国およびカナダである。その他の地域は、メキシコを含む中南米、大洋州、トルコを含む中近東およびアフリカである。

1, 237生産拠点の地域分布



なお、今回調査での主要地域別の状況は次の通りである。

地域別生産会社の状況

国/地域名	前回 調査	今回 調査	増加数
全 体	1,182	1,237	55
北 米 (うち米国)	300 (280)	298 (277)	-2 (-3)
欧 州 (うち旧東欧圏)	131 (31)	144 (41)	13 (10)
ア ジ ア (うちアセアン) (うち中国)	668 (335) (151)	705 (338) (182)	37 (3) (31)
そ の 他 (うち中南米)	83 (61)	90 (69)	7 (8)

今回調査では新規生産会社の増加は109社であった。増加数の大きい国は次の通りである。中国34社、米国15社、タイ12社、チェコ、ブラジル各6社、インドネシア、メキシコ各5社
他方、登録から削除した生産会社は54社であった。

会員企業6社の退会によるもの14社、 海外生産会社の売却・解散・統合・再編等 19社
理由不明 10社、 その他 11社

その結果、今回調査での純増は55社となった

また国別拠点数の上位10カ国は次の通りである。

順位	国 名	拠点数
1	米国	277
2	中国	182
3	タイ	164
4	インドネシア	79
5	台湾	68
6	インド	56
7	韓国	54
8	イギリス	46
9	フィリピン	40
10	マレーシア	34

海外生産事業の概要

1. 調査方法

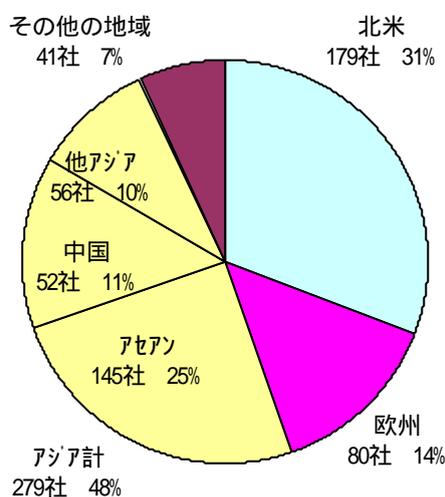
調査対象企業

会員企業にとって重要性の高い海外の連結子会社（持分法適用会社は除く）に調査対象を限定し、連結決算を実施していない会員企業には連結子会社に相当すると思われる現地企業について、2002年（度）の海外生産事業の状況を伺った。

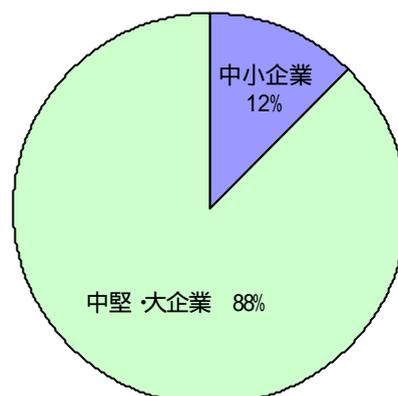
2. 回答企業の内訳

回答企業数は現地企業数で579社（日本本社数で124社）であった。回答のあった企業を地域別および規模別に見ると次の通りである。

回答企業（現地）の地域別内訳



回答企業（日本本社）の規模別内訳



回答企業（現地）の設立年別内訳

	回答企業数	比率
～1980年	56社	10%
1981～1990年	145	25%
1991～2000年	305	53%
2001年以降	73	13%

3. 売上高の状況

(1) 売上高の推移

回答した現地企業579社のうち54社は売上高未回答であった。

	2000年	2001年	2002年
回答企業数	488社	459社	525社
売上高合計	34,391億円	37,007億円	48,860億円
1社平均	70.5億円	80.6億円	93.1億円

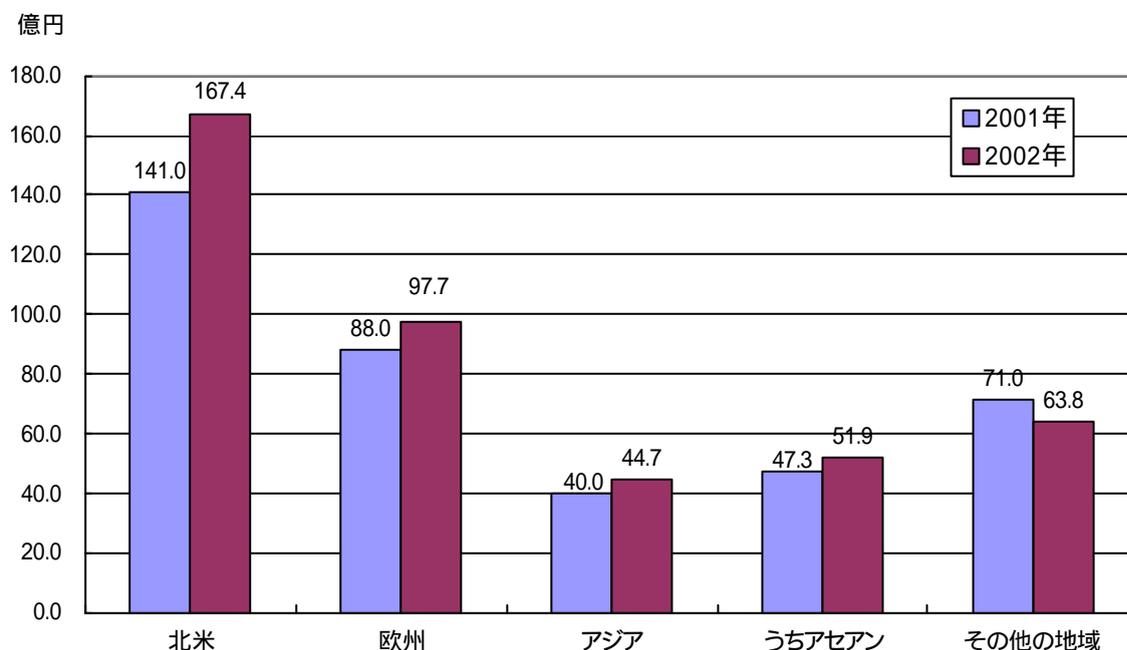
今回の調査では525社の売上高合計は約4.9兆円で、現地企業1社あたりの平均売上高は93.1億円であった。昨年の結果と比較すると、売上高合計で132.0%、1社平均で115.5%となった。なお、調査対象である海外生産会社の連結子会社全てから回答があったわけではないことを考慮すると、この金額はおおよその目安である。

(2) 地域別売上高比率と生産拠点数比率の比較

前回調査と同様の傾向であった。北米の生産拠点数が全体の32%にもかかわらず売上高の約60%を占め、アジアは生産拠点数で約半数を占めるが、売上高シェアでは23%であった。また、中国は生産拠点では12%、売上高シェアは4%であった。

	回答した 現地企業数	回答企業数の 割合	回答企業の 売上高合計	売上高の割合
北米	170社	32%	28,463億円	58%
欧州	72	14	7,038	14
アジア	246	47	10,998	23
(うちアセアン)	(134)	(26)	(6,947)	(14)
(うち中国)	(65)	(12)	(2,079)	(4)
その他の地域	37	7	2,360	5
合計	525	100	48,860	100

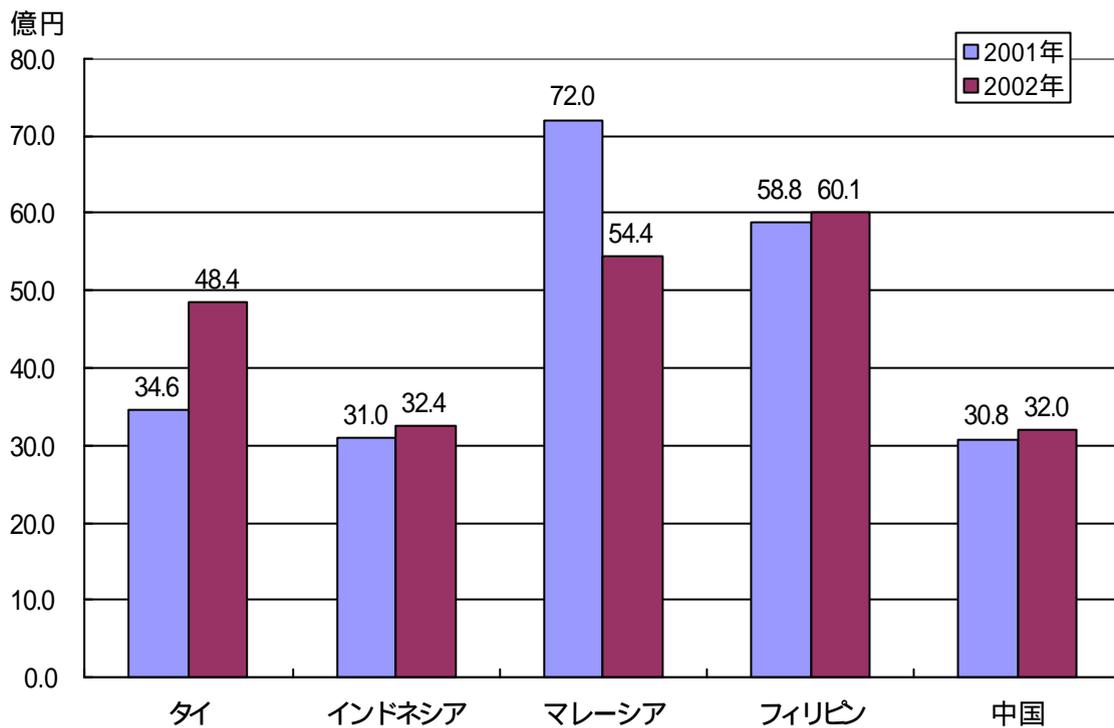
(3) 地域別1社平均売上高



*これは売上高を回答した現地企業の平均である。現地企業数は、2001年は北米151社、欧州51社、アジア225社、うちアセアン118社、その他32社、2002年は北米170社、欧州72社、アジア246社、うちアセアン134社、その他37社の平均である。

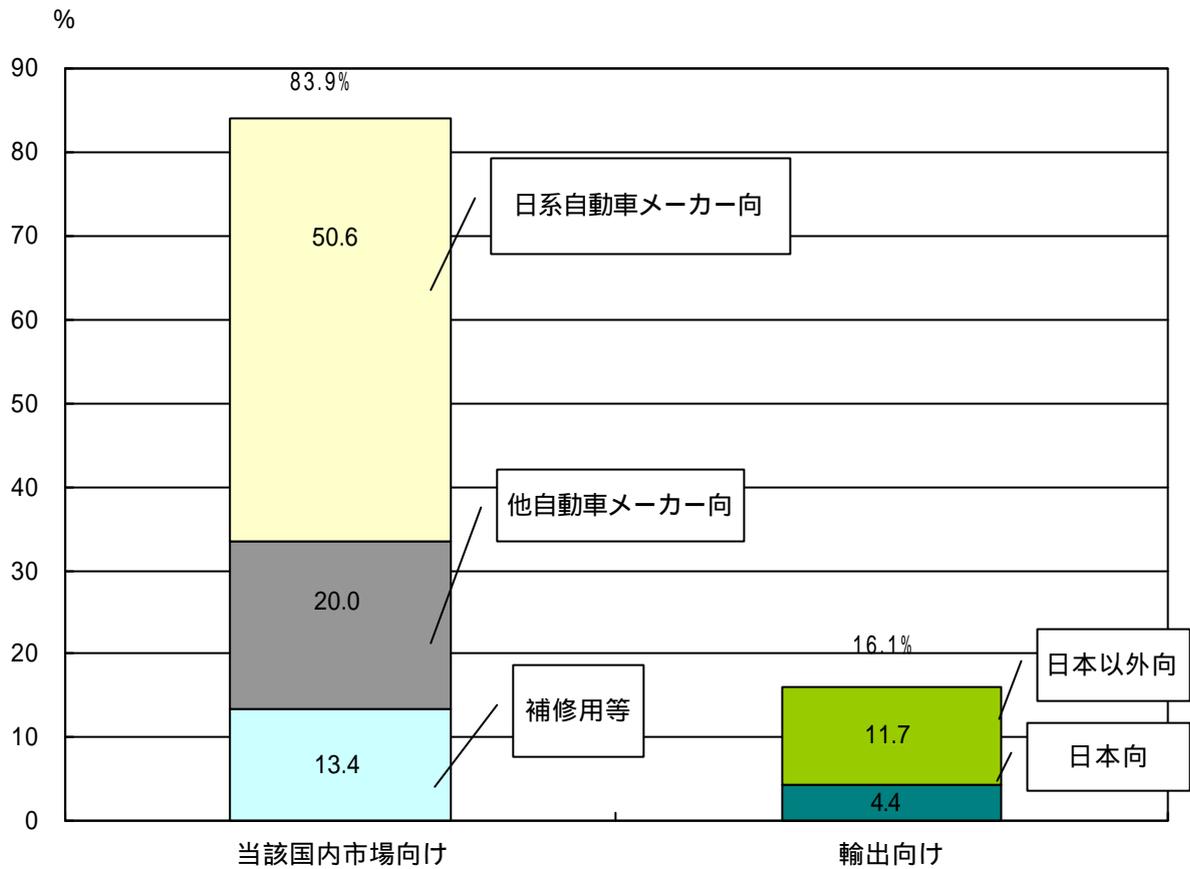
その他の地域を除き、他の全ての地域で昨年の1社平均売上高を上回った。昨年はアジア、アセアンが大きく伸びたが、今回の調査では北米の伸びは18.7%で、好調であった米国の自動車販売を反映している。アセアンの主要4ヶ国（タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン）および中国の1社当たりの平均売上高を比較すると、次のグラフの通りである。タイでは自動車生産の回復により約40%の増加となった。なお、マレーシアはサンプル数が少なく、実態を反映していないと考えられる。

アセアン主要4カ国および中国の1社平均売上高



* 2001年は現地企業タイ64社、インドネシア28社、マレーシア5社、フィリピン14社、中国42社の平均、2002年はタイ68社、インドネシア28社、マレーシア8社、フィリピン18社、中国65社の平均である。

(4) 売り先別の比率



* この比率は売上高と売り先別比率を正確に回答した現地企業 458 社の加重平均である。

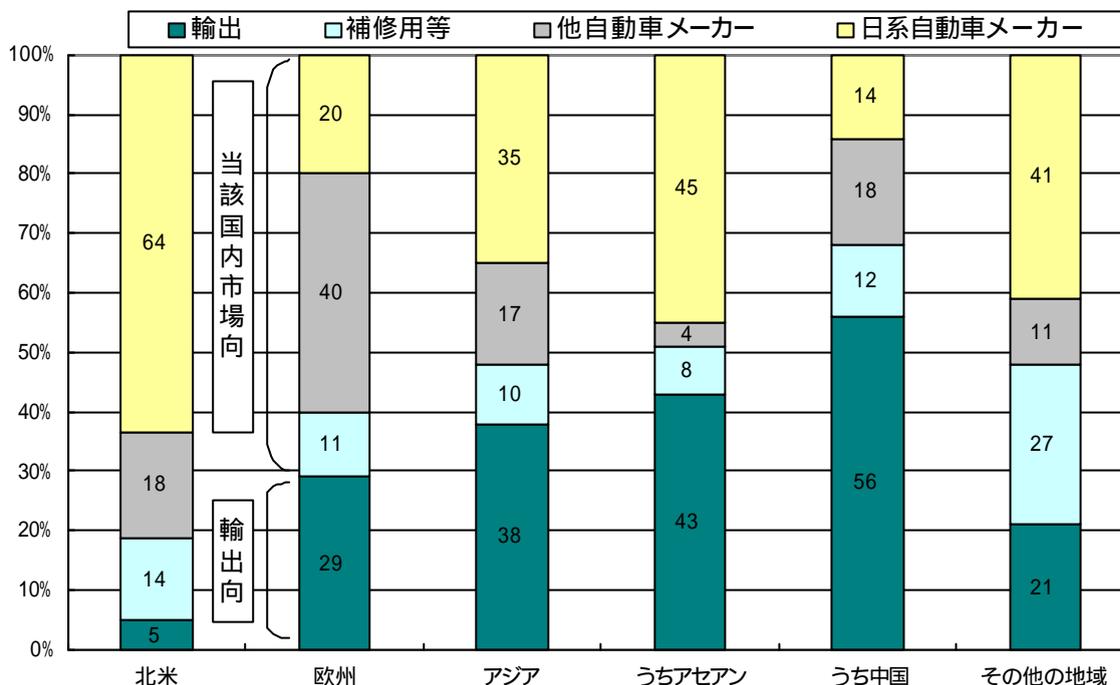
* 補修用等には部品メーカー向けを含む。

2001年との比較すると次の通りである。

		2001年	2002年
当該国内市場向け	日系自動車メーカー向け	53.9%	50.6%
	他自動車メーカー向け	23.9%	20.0%
	補修用等	7.4%	13.4%
	当該国内市場向け 小計	85.3%	83.9%
輸出向け	日本向け	2.8%	4.4%
	輸出向け	11.9%	11.7%
	輸出向け 小計	14.7%	16.1%
合計		100.0%	100.0%

現地企業458社を地域別に分け、地域別の売り先別比率は次の通りである。

地域別 売り先別比率



* 上記の比率は、現地企業北米 149 社、欧州 56 社、アジア 220 社、うちアセアン 122 社、うち中国 57 社、その他の地域 33 社の加重平均である。

* 輸出は、日本向けと日本以外向けの合計。

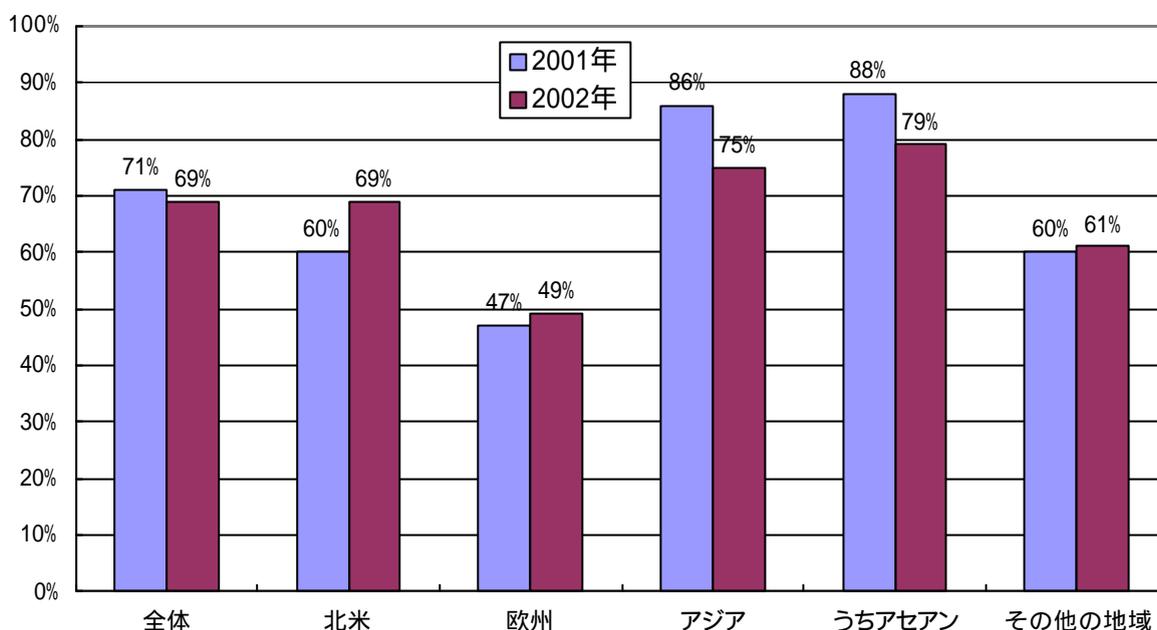
なお、2001年との比較は次の通りである。

	日系自動車メーカー向		他自動車メーカー向		補修用等向		輸出	
	2001年	2002年	2001年	2002年	2001年	2002年	2001年	2002年
北米	66%	64%	20%	18%	8%	14%	6%	5%
欧州	19%	20%	53%	40%	7%	11%	21%	29%
アジア	38%	35%	17%	17%	9%	10%	37%	38%
うちアセアン	49%	45%	4%	4%	8%	8%	39%	43%
うち中国	9%	14%	25%	18%	6%	12%	60%	56%
その他	56%	41%	19%	11%	4%	27%	20%	21%

なお、2000年では中国からの輸出のうち80%強が日本向けであった。同じくアセアンでは40%強が日本向けで、中国及びアセアンへの生産移管が進んでいることを示している。

4. 収益の状況

(1) 2002年(度) 税引前当期利益黒字企業の構成比率(%)



* これは現地企業に占める黒字企業の割合である。現地企業数は2001年は全体455社、北米149社、欧州51社、アジア223社、うちアセアン117社、その他の地域32社。2002年は全体520社、北米166社、欧州74社、アジア244社、うちアセアン132社、その他の地域30社。

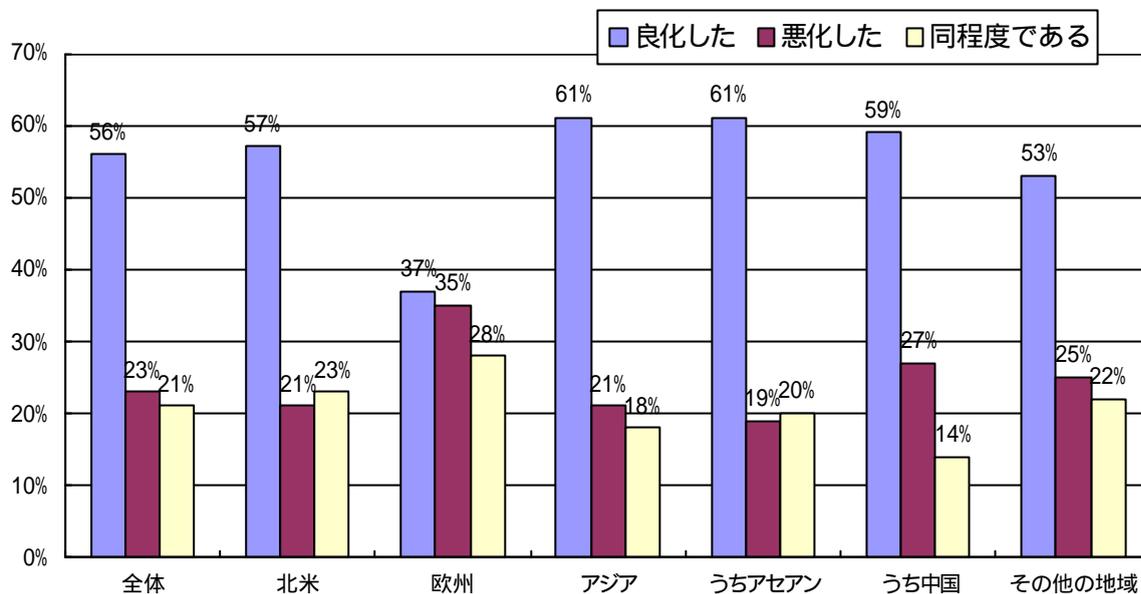
全体では69%が当期黒字と回答しており、昨年に比べ若干減少した。地域別にみても、売上が大幅に伸びた北米と欧州は前年に比べ好転したが、アジアでは悪化している。アジアは売上の増加が見られたものの黒字企業の割合が減少している。これは、中国での設立間もない新設企業が増加していることが影響しているものと考えられる。なお、今回の回答企業520社のうち、1980年までに設立した企業の単年度黒字化の比率は76%、81年から90年までに設立した企業では83%、91年から2000年では69%、2000年以降に設立した企業では17%であった。

アセアン主要4カ国及び中国の税引前当期利益の黒字企業比率は次の通りである。

	現地企業数		うち黒字企業数		黒字企業比率	
	2001年	2002年	2001年	2002年	2001年	2002年
タイ	63社	66社	53社	53社	84%	80%
インドネシア	28社	28社	25社	21社	89%	75%
マレーシア	5社	8社	5社	5社	100%	63%
フィリピン	14社	18社	14社	16社	100%	89%
中国	52社	66社	38社	38社	73%	58%

地域別に採算状況を前年度と比較した場合、次のグラフの通りとなった。

地域別 採算状況の前年度との比較



* これは現地企業（全体 469 社、北米 150 社、欧州 60 社、アジア 227 社、うちアセアン 125 社、うち中国 59 社、その他 32 社）の各項目の回答割合を示す。

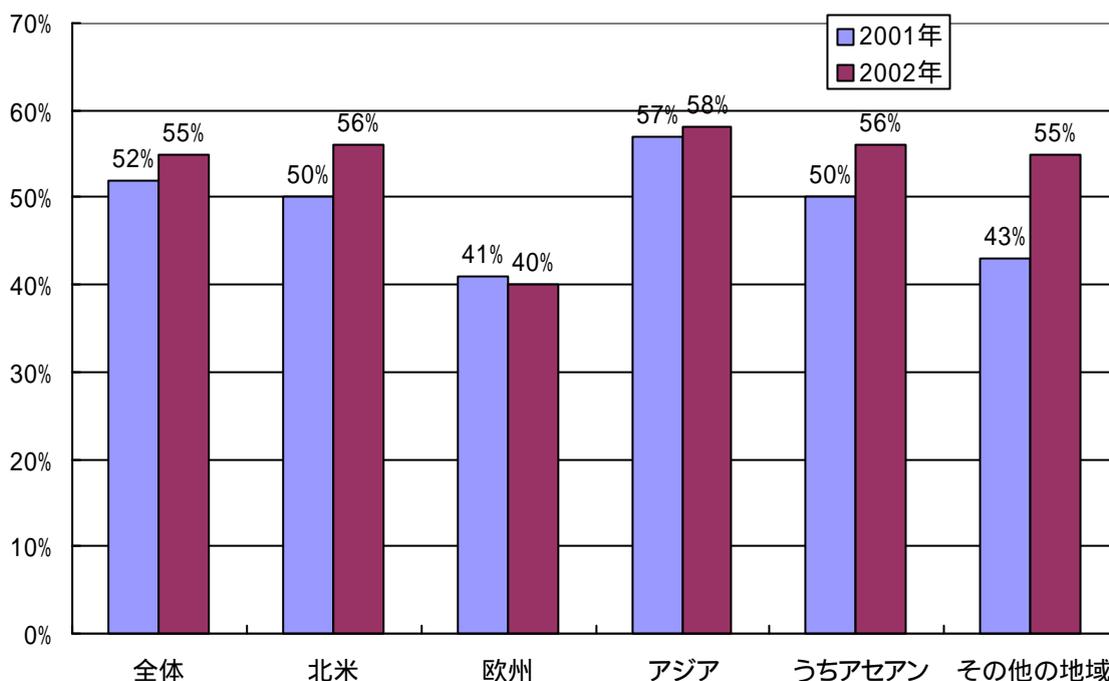
2002年（度）との比較は次のとおりである。

	良化した		悪化した		同程度である	
	2001年	2002年	2001年	2002年	2001年	2002年
全体	46%	56%	31%	23%	23%	21%
北米	37%	57%	36%	21%	27%	23%
欧州	47%	37%	33%	35%	20%	28%
アジア	54%	61%	24%	21%	21%	18%
うちアセアン	60%	61%	20%	19%	20%	20%
うち中国	59%	59%	27%	27%	14%	14%
その他	31%	53%	47%	25%	22%	22%

欧州以外の地域は「良化した」と回答した企業の割合が、昨年（度）に比べ増加している。

(2) 累積黒字企業の構成比率(%)

ここでも欧州企業の収益状況は悪いが、ここ数年の進出先である中欧在企業の黒字企業の割合が低いことが影響していると考えられる。なお、英国在企業の黒字の割合は42%と前回(28%)よりも増加した。



* これは現地企業数に占める累積黒字企業の比率である。現地企業数は 2001年は全体 427社、北米 145社、欧州 51社、アジア 201社、アセアン 107社、その他の地域 30社。2002年は全体 478社、北米 152社、欧州 60社、アジア 233社、アセアン 126社、その他の地域 33社。

アセアン主要4カ国および中国での累積黒字企業の比率は次の通りであった。

	現地企業数		うち黒字企業数		黒字企業比率	
	2001年	2002年	2001年	2002年	2001年	2002年
タイ	57	63	24	29	42%	46%
インドネシア	26	28	13	15	50%	54%
マレーシア	5	8	4	6	80%	75%
フィリピン	12	17	7	12	58%	70%
中国	47	63	26	29	55%	46%

(3) 設立年代別累積黒字の達成率

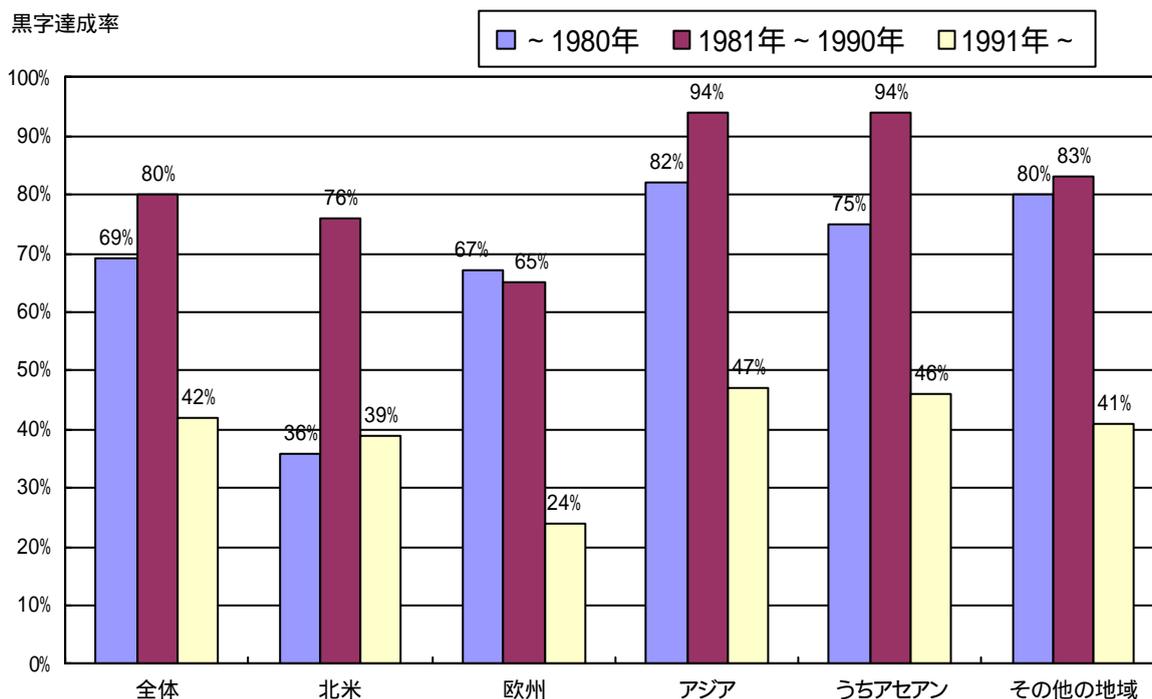
設立年代別に、毎年の調査ごとに累積黒字企業の比率を比較した。昨年と同様に今回も1970年代、1980年代に進出した企業の累積黒字化が70%前後の高い水準になり、累積黒字化が進んできていると言える。

2000年との比較は次の通り。

	現地企業数		うち黒字企業数		達成率(%)	
	2001年	2002年	2001年	2002年	2001年	2002年
～1980年	50	49	36	34	72	69
1981年～1990年	135	129	93	103	69	80
1991年～	242	300	93	125	38	42
合計	427	478	222	262	52	55

地域別・設立年別に累積黒字達成企業比率を比較すると次の通り。昨年と同様に、北米で1980年までに設立された会社の黒字達成率が低い結果となった。(回答企業11社中4社が黒字)

地域別 累積黒字達成企業の構成比率



なお、中国では1981年～1990年設立の会社は100%(3社中3社)、1991年以降設立では43%(60社中26社)が黒字であった。

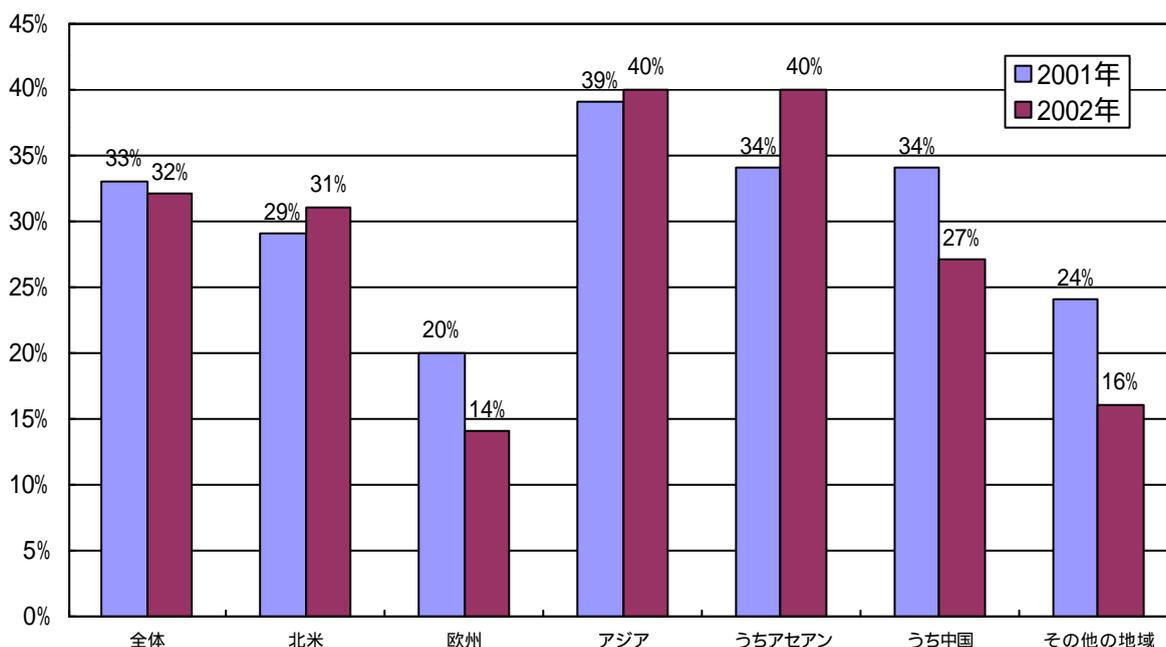
(4) 本社への配当

2002年(度)決算で配当した企業は、有効回答数480社(現地企業数)のうち155社で32.3%、配当していない企業は325社で67.7%で、傾向に変化はなかった。昨年の調査はとの比較は次表の通りである。

	2001年(度)決算	2002年(度)決算
現地企業数	416社	480社
配当した企業数	139社(33.4%)	155社(32.3%)
配当していない企業数	277社(66.6%)	325社(67.7%)

今回調査で配当した企業を地域別にみると次の通りであった。アジア、北米では配当した企業の比率が上昇したが、欧州、その他の地域では減少した。中国での減少は新設企業の増加によるものと思われる。

地域別 配当企業構成比率

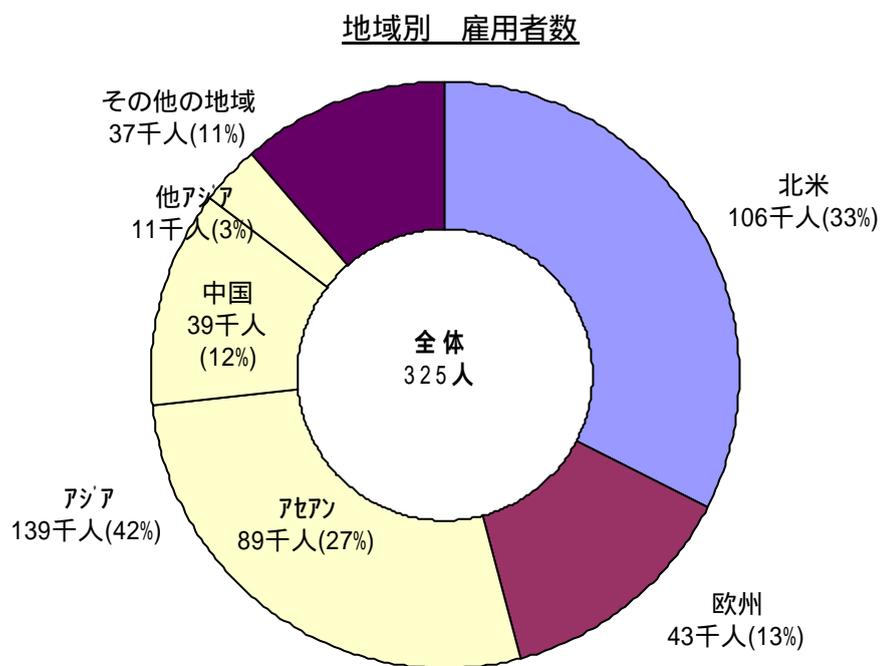


* これは現地企業数に占める配当企業数の比率である。2001年は全体424社、北米138社、欧州49社、アジア208社、うちアセアン110社、うち中国47社、その他の地域29社。2002年は全体480社、北米154社、欧州63社、アジア231社、うちアセアン123社、うち中国63社、その他の地域32社。

5 . 雇用の状況

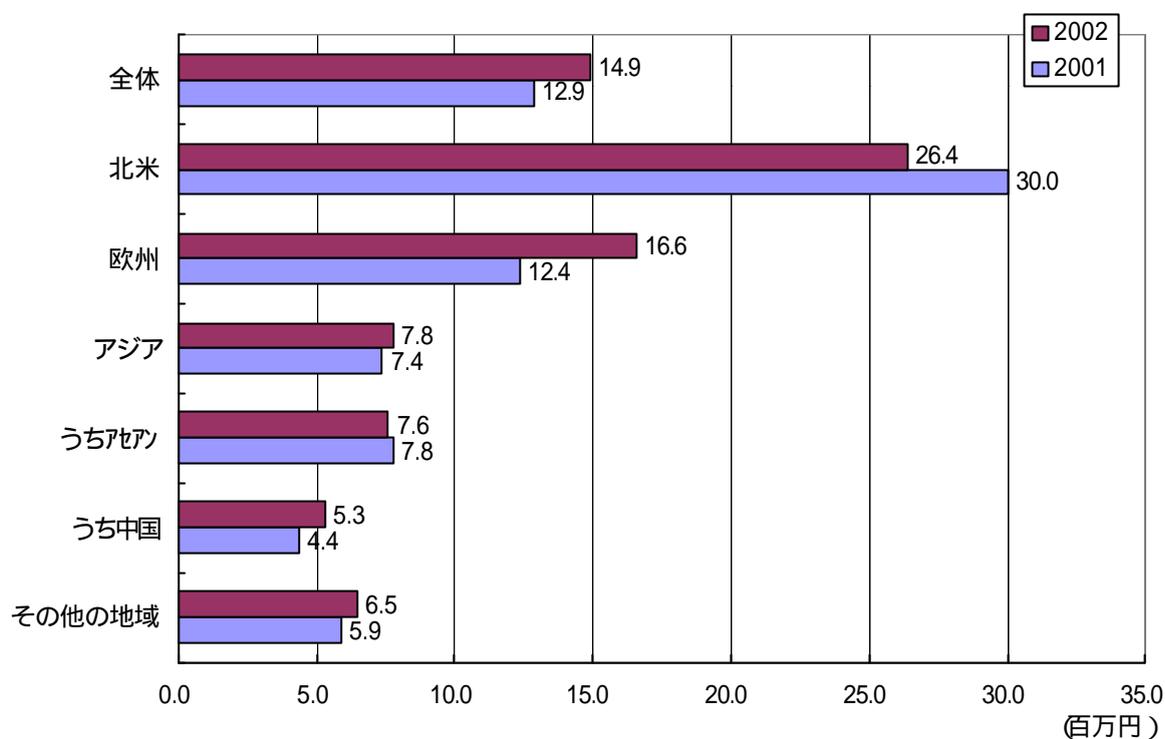
全世界および地域別の雇用状況は次の通りである。1社平均では地域で増加している。

	現地企業数		全従業員数		1社平均雇用者数	
	2001年	2002年	2001年	2002年	2001年	2002年
全 体	436社	536社	299千人	325千人	687人	607人
北 米	150	168	114	106	759	631
欧 州	51	77	36	43	708	557
ア ジ ア	205	252	112	139	548	553
うちアセアン	109	134	68	89	621	665
うち中国	47	69	32	39	689	565
その他の地域	30	39	37	37	1,235	948



地域別の1人当たりの売上高は次のとおりとなった。

地域別 1人当たり売上高

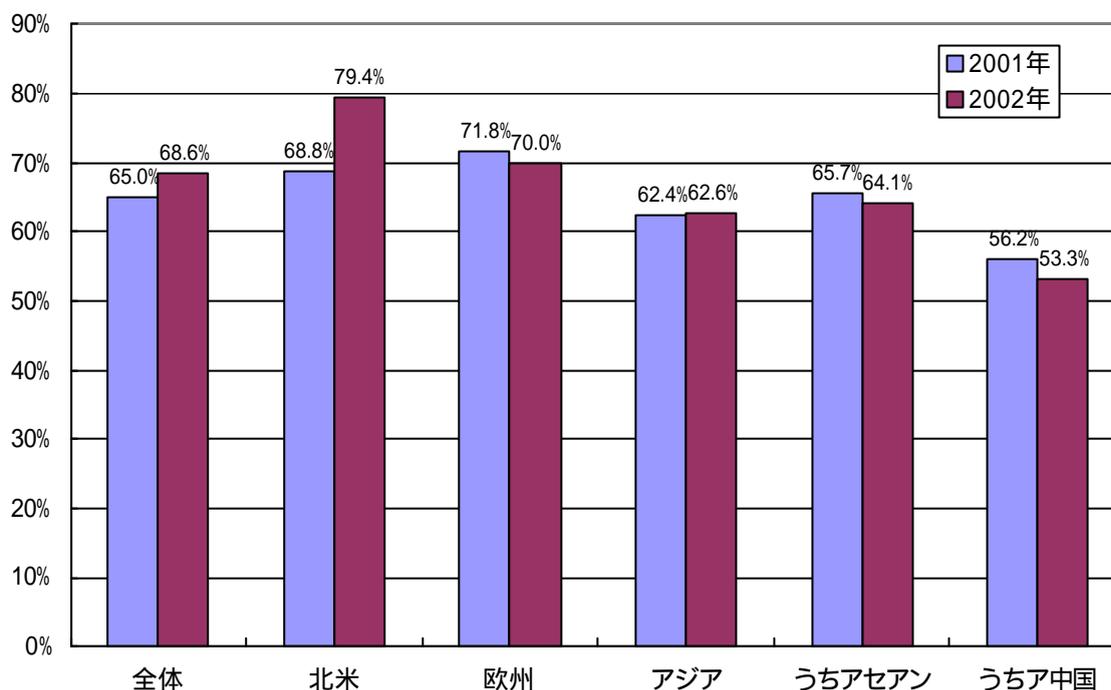


* これは売上高と従業員数双方を回答した企業の平均である。現地企業数は、2001年は全体 433社、北米 147社、欧州 51社、アジア 205社、うちアセアン 109社、中国 47社、その他の地域 30社。2002年は、全体 508社、北米 163社、欧州 72社、アジア 236社、うちアセアン 129社、うち中国 61社、その他の地域 37社。

6 . 現地調達率

現地調達率の引き上げは、海外生産の重要な要素の一つであり、各社は現調率引き上げに努力しているところである。アジア、アセアンでの低い水準の引き上げが引き続き課題である。

各地域とも日本からの技術移転の一層の促進など現調率の引き上げが引き続き重要であると考えられる。



* 現地調達率 = (売上高 - 輸入購入額) / 売上高

* EU、NAFTA、ASEANの域内購入は輸入とはみなさない。

* 上記は2001年が全体375社、北米125社、欧州47社、アジア174社、うちアセアン90社、うち中国44社の平均である。2002年は全体425社、北米134社、欧州55社、アジア203社、うちアセアン106社、うち中国58社の平均である